



魅力は人。この町が好き

アトリエ ブラット
atelier blatt

青木 良太さん
亜美さん

青木さんご夫妻の活躍は
お店のインスタから→



—この地で輝く—

かんらびと
甘楽人

file 2

昨年10月、町内に花のスタジオをオープンさせた青木良太さん、亜美さん。災害が少なく子育てしやすい環境に加え、コロナ禍で仕事の形態をブライダルやイベント事業からインターネット販売中心に切り替えたことで都内のスタジオを閉めて移住を決断。

移住先に西毛地域を選んだきっかけは亜美さんが自宅近くで買った群馬県産の野菜がおいしく群馬に好印象を持ったことから。そして、よく利用していた上信越道沿線に降り立ってみようと。「友人にも人生の決め方がギャンブルみたいだねと言われます」と笑いながら話す良太さん。

店舗を持つ予定はなかったが、移住先で人と出会い周囲に背中を押され小幡に開業し、フラワーレッスンも開催。それが新たな出会いにつながり、温かく接してくれる人々に囲まれ「この町が好きと感じることができた」と言います。

二人ともドイツで修業した

経歴を持つドイツスタイルの花屋で、床やカウンターなどの内装は良太さん自身が手掛けたこだわりのお店。扉を開けた瞬間に漂う香りとともにすぐにその世界観に魅了されます。店内には東京で仕入れる季節の花や流通量が少なく珍しい観葉植物などが並び、【暮らしをより豊かに】をコンセプトにしています。

こちらのイメージを伝えれば枝を編み込んだ个性的でおしゃれな花束をアレンジしてくれたり、植物の手入れ方法をアドバイスしてくれたり、誰でも気軽に花を一輪から買うことができます。

「この地域の人は一つ一つを見て本当に気に入ったものを買ってくれるので、時にお客様を思い描き仕入れることも。それが楽しくもあり、改めて仕事の本質に気付かされました。見るだけでもいいので、フラットとお店に立ち寄ってください」と笑顔で話してくれました。

熱中症に注意しましょう

近年熱中症で亡くなる人や救急搬送される人が増えています。

熱中症の危険性が非常に高いと予測される場合に、気象庁と環境省が共同で予防行動を効果的に促す「熱中症警戒アラート」を発表します。

※「熱中症警戒アラート」と「暑さ指数(WBGT)」は、環境省「熱中症予防情報サイト」で確認できます→



熱中症警戒アラートが発表されたら…

- 急ぐ用事がある場合以外は、外出を控えよう
- 室内でもエアコンやクーラーなどを使って、涼しく過ごそう
- のどが渇く前にこまめに水分をとろう
- 熱中症になりやすい高齢者、子ども、障がいのある人に熱中症に気をつけるよう声を掛けよう
- 暑さ指数(WBGT)に応じて、屋外や空調のない屋内での運動は原則中止・延期しよう

